



ふたば 未来 ワークショップ

2023.8.05-06 Sat. & Sun .

申込締切：7月7日（金）

双葉の復興・未来をみんなで考えよう！

日時：2023年8月5日（土）、6日（日）
会場：双葉町産業交流センター（F-BICC）他
対象者：福島県在学高校生・高専生 40名
参加費：無料

主催：原子力損害賠償・廃炉等支援機構（NDF）
主管：特定非営利活動法人地域持続研究所
（千葉大学研究グループOPoSSuM）



【8月5日（土）】

10:30 集合（双葉駅予定）

11:00 開会・自己紹介等の後、昼食

12:15 東日本大震災・原子力伝承館見学

13:30 フィールドワーク・双葉郡の施設見学

請戸小学校 大平山霊園 棚塩産業団地（福島水素エネルギー研究フィールド、福島高度集成材製造センター、福島ロボットテストフィールド） 双葉駅周辺

16:00 地元住民との対話

小林奈保子さん（任意団体なみとも代表）

震災後に田村市復興応援隊として避難指示が解除された地区の避難・帰還住民の生活支援や地域課題解決に取り組んでいる。現在は、浪江町に転居し、若者の定住促進を目的とした任意団体「なみとも」で、交流イベントの開催等、地域コミュニティの再生に尽力している。

17:10 ホテルに移動

18:00 1日の振り返り、チームビルディング

19:00 ホテルにて夕食

【8月6日（日）】

9:00 未来ワークショップ@F-BICC（双葉町）

双葉地域の復興や廃炉に関する客観的なデータに基づいて「何もなかった場合の未来予想」と「参加者が思い描く未来」の差を手掛かりに、今何をすべきか議論します。

・データから見る双葉地方の復興状況についてのレクチャー

12:00 昼食

13:00 グループワーク

・2050年に実現したい双葉地域の未来像を描く

・いまからどのような政策を行うべきか（政策提言）

未来世代からの提言発表・意見交換

16:20 講評

16:45 閉会

○グループワークは1班5名程度で構成予定です。各班にはファシリテーター（ ）として毎日のいろいろな授業でグループワークによって学びを深めている千葉大学の学生が付きます。このため、発言が苦手とされている方でも、自分の意見を発言していくことができるようになります。

○事前ブリーフィングやレクチャーを通して、基本的な知識を身につけることができます。専門知識などは不要です。

（ ）ファシリテーター：参加者に問いかけを行い、意見やアイデアを取りまとめる人。スムーズな議論ができるように、進行する役。

学生セッションのHPは以下です。QRコードはこちら

<https://ndf-forum.com/student/>

参加希望者は担当の先生を通じてお申し込みください。



◆講師の紹介



倉阪秀史 千葉大学大学院社会科学研究院教授 NPO 法人地域持続研究所理事長。千葉大学環境ISO学生委員会顧問。東京大学経済学部卒業後、1987年から11年間、環境庁（現・環境省）で環境政策に携わる。専門は、持続可能性の経済学、環境政策論、合意形成論。人口減少や環境問題など、様々な社会課題のなかで、今後の社会の持続可能性を高めるための研究を行っている。



鈴木雅之氏 千葉大学コミュニティ・イノベーションオフィス長及び国際学術研究院副院長（国際教養学部副学部長）、横芝光町シティマネージャー、NPO法人ちば地域再生リサーチ理事。専門は地域再生、地方創生、まちづくり、移住、観光振興など。地方産業の振興や若者の地方定着のためのプロジェクトを自治体との連携で進めている。



小林 奈保子氏 任意団体 なみとも 代表

震災後、田村市復興応援隊として、避難指示が解除された都路地区の避難・帰還住民の生活支援や地域課題解決に向けた各種取組みに携わる。現在は、浪江町に転居。若者の定住促進を目的とした任意団体「なみとも」で、「価値観の違いを受け入れ“ひとりひとりの復興”へ一緒に歩む」をモットーに交流イベントの開催等、地域コミュニティの再生に尽力している。

当日必要なもの：事前配布資料、筆記用具

参加費：無料 参加者には修了証書を進呈

その他：

入手した個人情報 は厳重に取り扱い、本事業の目的以外では使用いたしません。当日ワークショップの様子を映像・写真撮影させていただきます。撮影した映像や写真はNDFのホームページやSNS・各種メディア等に掲載される場合があります。同意していただける参加者には「第7回 福島第一廃炉国際フォーラム」で意見を発表していただく予定です。（8月27日開催）

問い合わせ：不明な点は担当の先生を通じてお問い合わせください。

千葉大学研究グループOPoSSuMについては、以下をご参照ください。

<https://opossum.jpn.org/>

↓脱炭素時代の地域の持続可能性を考えるOpossumのリンクはこちら

